

退院指導の徹底で、在宅の患者さんにも 安心した暮らしを提供したい

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院 八鍬 恵美さん

新庄徳洲会病院は、院内に療養施設から介護ステーション、グループホームなど多様な設備を要する、山形県新庄・最上地域の中核的な医療機関です。八鍬 恵美さんは、皮膚・排泄ケア認定看護師として、院内の褥瘡対策の先頭に立つてきました。

前回の取材(平成22年7月発行 本誌7号に掲載)から2年が経ち、病院やご本人の取り組みがどのような成果を挙げているのかお話を伺いました。

現場スタッフとの共感が、褥瘡対策を活性化

八鍬さんは、スタッフと同じ目線で患者さんに接し、ともに対処法に悩むことで、現場の疑問点や仕事の手順の問題点が把握でき、講義や指導に役立つという

「看護の教科書や専門書に載っているような理想ばかりを求めても、誰もついてきません。同じ目線でスタッフと一緒に悩み、苦しみながら、褥瘡対策に向けて戦うからこそ、改善したときのうれしさをスタッフみんなが共感できると思っています」

新庄徳洲会病院には、八鍬さんも所属する褥瘡対策委員会が置かれ、そのほかに病棟ごとに褥瘡担当の看護師や介護士が連携して包括的に対処する体制をとっています。八鍬さんは、誰が抜けても褥瘡対策が滞らないように、という院長の方針を現場に反映すべく、褥瘡対策委員や病棟看護師による褥瘡の勉強会実施を促しています。

「組織の中での私の立場は変わっていませんが、現場のスタッフに対しては以前より積極的に働きかけるようになりました。勉強会では受け身にならないよう、「熱傷」や「滲出液」など、各自が興味のあるテーマを設定してもらいます。人に教えるためにはいつも以上の勉強が必要なので、教育効果が望め、スタッフの意識も日に日に高まっています」



褥瘡対策の専従となり今後は在宅での褥瘡ケアに活動の範囲を広げていきます。

が共通のツールを手にしたことで、両者の対話の距離はぐっと近づきました。

「ご家族と患者さんの不安を減らすため、地域密着で活躍したい」

八鍬さんは6月から、褥瘡対策の専従となり、院内だけでなく在宅や施設にも活動の場を拡げています。

着型で活動していきます」ご家族や患者さんに少しでも安心して過ごして欲しいという八鍬さんの強い想いは、病院とは環境の異なる「在宅」へも拡がり、地域の介護を動かし始めています。

※1 ステージI(NPUAP分類) 褥瘡のステージIとは、肌を赤みがあり、圧迫しても蒼白にならない程度を指す。創面を評価するNPUAP分類は予防を重視し、主に看護師が医療分野で使用している。

ができなかったこと、施設だという安心感からしつかりとした退院指導ができなかったことが原因です。また、当院には退院時のチェックリストがありましたが、褥瘡患者が多い病棟以外はチェックを簡易に済ませていたなど、院内の標準化がおろそかになっていたことも反省点です」

こうした問題を受けて、八鍬さんは退院指導のためのパンフレットを改編しました。新しいパンフレットでは、褥瘡の処置方法、褥瘡予防に必要な体位変換方法、ポジショニング、ずれの解除方法、清潔の保持方法など、多岐にわたる項目が見直されました。同時に、パンフレットを使うスタッフの指導方法を院内で統一したことも再発予防に大きな効果がありました。

なりました。特に在宅の場合、家に帰ると介護者も高齢なので、字を大きくしたりイラストを使ったりしてわかりやすさに配慮しています。また、介護の負担を軽減する福祉用具・機器の紹介や社会資源の活用を盛り込んだことも以前との大きな違いです。在宅介護では、介護するご家族の負担はかなりの大きなものです。デイサービスやショートステイなどの施設や、福祉道具といった、ほかに頼れるものがあるのと知っていたただくことで、少しでも患者さんご家族の気持ちが楽になればと考えています」

パンフレットの活用により、患者さんが自宅で過ごす際の確かなアドバイスができるようになり、ご家族の在宅介護の悩みをヒアリングしやすくなるというメリットもあるそうです。病院側と、患者さんご家族

「診療報酬の改定で、真皮を超える褥瘡の患者さんに対し、訪問看護師と皮膚排泄ケア認定看護師(WOCN)が同行することで、加算できるようになりました。私は褥瘡ができる前から介入したいと常々思っていましたので、ステージI(※1)の方や、訪問看護師ご家族が不安に思われている患者さんの場合も、できる限り同行するようにしています。時には何も処置を必要とせず、指導をするだけの場合もあります。例えば加算がでないとしても、こうしたケアに時間を費やす意味は必ずあると考えています。今後、褥瘡で苦しむ患者さんを減らすために、院内にとどまらず地域密

医療法人徳洲会 新庄徳洲会病院

〒996-0041
山形県新庄市大字鳥越字駒場4623

TEL: 0233-23-3434



PROFILE



八鍬(やくわ) 恵美さん

医療法人徳洲会・新庄徳洲会病院に平成12年4月入職。平成21年に皮膚・排泄ケア認定看護師(WOCN)を取得。院内では褥瘡対策委員として、院外では訪問看護師に同行し、在宅ケアにあたるなど幅広く活動している。